



〈北海道教育の基本理念〉

「自立」・「共生」

〈空知管内教育の重点〉

- 「全ての教育活動で子どもたちが主語を実現」
- 「多様な子どもたちの深い学び」
- 「空知全体を一つの学びのキャンパスに」

〈夕張市の教育推進〉

「小中高一貫ふるさとキャリア教育の推進」

自己実現の先に在る一人一人の Well Being へ（生徒・保護者・地域・職員）

校訓「伸びやかに たくましく」

学 校 教 育 目 標 Believe in yourself ～協働・チャレンジ～「輝きながら、夢をもって歩む人を育てる」

令和8年度 重点教育目標

生徒一人一人の障がいの状態に応じて、生徒が地域との対話を通し、主体的かつ協働的に学ぶ授業

「協働・チャレンジの3つの柱」

出前授業

地域の教育力を活用した
外部講師の導入や交流授業

自立活動・合わせた指導及び教科別指導等

多様な生徒の実態やニーズに
対応する様々な校内での授業

夕張チャレンジプログラム

地域を教場とした多様な形
での体験的な授業

〈令和の日本型学校教育〉
～急激に変化する時代～
□ソサイティ 5.0
□予測困難な時代
□デジタル化・オンライン化、DX時代
～子どもたちに育む資質・能力～
○自分のよさや可能性を認識
○他者を価値ある存在として尊敬
○多様な人々と協働
○豊かな人生を切り開く

〈学習指導要領が示す3つの柱〉
①知識・技能
②思考力・判断力・表現力
③学びに向かう力・人間性

【学校が目指す姿】

- 1 地域とともに生徒の社会性（主体性、協働性、道徳性）を育む学校
- 2 生徒の人権を尊重し、きめ細かく丁寧な教育を行い、一人一人の能力を確かに伸ばす学校
- 3 生徒も職員も明るく元気に学ぶ活力ある学校
- 4 地域の特別支援教育の拠点となる学校

【生徒が目指す姿：5つの力】

- 1 日常生活に必要な活動をする
- 2 健康で過ごす
- 3 自分で考え、相談・決定・解決する
- 4 時間の楽しみ方の幅を広げる 余暇活動の幅を広げる
- 5 多様な人々と協働しながら過ごす

【教職員が目指す姿】

- 1 主体的、対話的に学び続ける
- 2 生徒の人権を尊重し、生活年齢や発達段階に応じた呼称、言葉遣い等に留意し、卒業後の生活につながる人間関係を築く
- 3 生徒の心情に寄り添い、卒業後の自立（自律）と社会参加を踏まえた丁寧かつ具体的な指導をする
- 4 対話を通した良好なコミュニケーションに基づく連携・協働を図る

「校訓」と学校教育目標「重点目標」の関連

コンセプト1 学校と寄宿舎の両輪

「伸びやかに」

「たくましく」

コンセプト2 個別最適な学びと協働的な学びの往還

協働的

生徒一人一人の障がいの状態に応じて
Believe in yourself（自分を信じて）

主体的

コンセプト3 地域の教育力の活用

協働

夢を持って歩む

地域との対話

チャレンジ

輝きながら

コンセプト4 自己実現の先にある個々のウェルビーイング

R8年度の重点取組事項

「生徒一人一人を輝かせる全員参加の学校運営～生徒の学びを深める為のYKYカリキュラムベースの構築～」

キーワード「エージェンシー(主体性)、ストーリー性(意図の繋がり) サステナブル(持続可能) コンセンサス(合意形成)」

- 生徒を主語にした教育活動の実践－評価を継続して行う【学校・寄宿舎・事務】
- 全ての業務に対して高い危機管理意識による業務改善を行い続ける【学校・寄宿舎・事務】
- DX時代に対応した生徒の学びを深めるICTの活用を支える校内組織運営との体制構築と授業実践に取り組む
- 夕張市の創成を延長線上においた地域の教育力を最大限に活用した教育を実践する
- 本校を選択してきた生徒を誰一人取り残さない学校の構築
- 「意味づけ・価値付け・ストーリー性」を意識した授業づくり

教育（指導）の実践事項

- 1【全体】「なぜ、何のために」「わかった」「またやりたい、もっとやりたい」と学ぶ動機に働きかける授業の充実
- 2【全体】地域の人材、環境、資源等の教育力を意図的に活用した取り組みの実践
- 3【全体】「発達に係る教育相談」を根底に置いた「生徒指導」と「学校教育相談」の両輪による発達指示的生徒指導の意識的棲み分け
- 4【全体】学校教育目標具現化を目指した学舎の指導支援プログラムの検討
- 5【学校】個別最適な学びと協働的な学びの往還を通した学校教育目標の「協働・チャレンジ」の本校独自のカリキュラムベースの構築
- 6【学校】合わせた指導における教科的指導要素の検討
- 7【学校】「指導」と「評価」の一体化を意識した学習評価の在り方の検証
- 8【寄宿舎】寄宿舎における生活指導の組織的の充実
- 9【寄宿舎】個々の卒業後の生活を捉えたQOLの向上を意識した具体的指導支援の実践と評価

経営の実践事項

- 1【全体】心理的安全性の確保（協働意識、同僚性の意識的発揮、）
- 2【全体】PDCAサイクルを活用した学校評価と年度末評価の効果的活用
- 3【全体】学舎及び事務部間の無理のない連携・協働の継続
- 4【地域連携】学校運営協議会の在り方改善と、校内組織との情報共有による市内関係機関との実効性の高いネットワークの構築（地域学校協働本部の立ち上げと熟議等の実施の検討）
- 5【特別支援教育】地域の特別支援教育に関わる情報発信基地としての具体的取り組みの実践（研修、ネットワーク構築、情報発信）
- 6【学舎】校内分掌組織体制の見直し（業務内容、運用上の課題整理と業務の効率化、平準化）
- 7【事務】施設設備の有効活用と整合性のとれた管理体制の強化
- 8【事務】必要経費等の節約と持続可能な事務運営体制の随時見直し

令和8年度の校内研究及び寄宿舎研究テーマ

「学校教育目標の具現化に向けて～個と集団の個性が輝く学びのために～」(学校)

「地域資源を活用した主体的な余暇活動の充実～個の実態に応じたアプローチ」(寄宿舎)